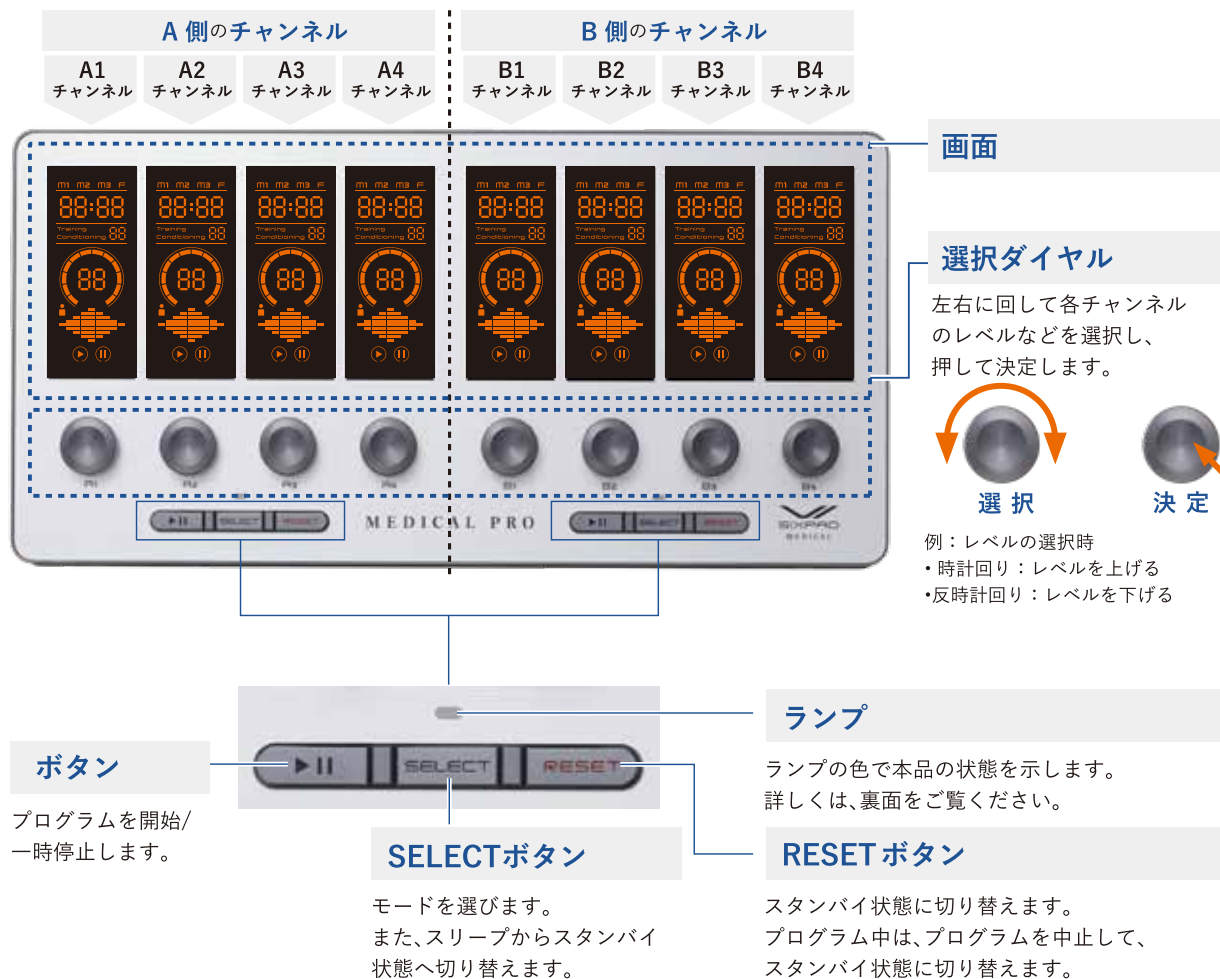


M E D I C A L P R O

Quick Guide

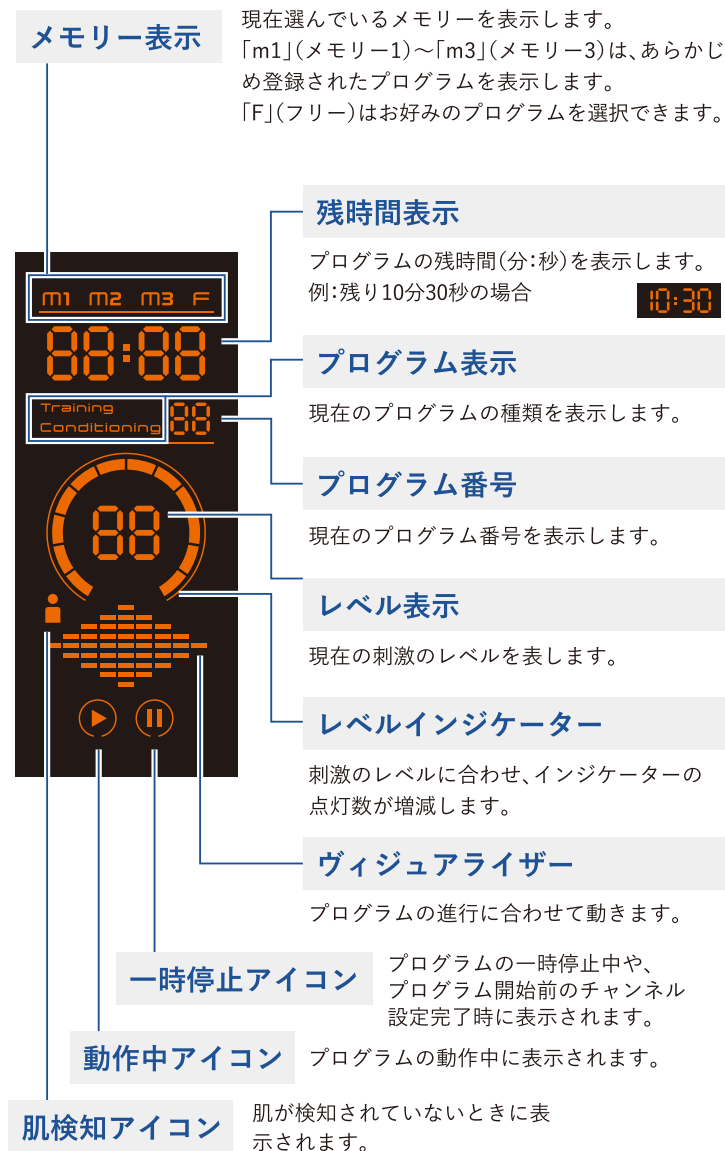


本体表示



・上記ランプと3つのボタンは、A側とB側で同じです。A側のボタンではA1～A4チャンネルを、B側のボタンではB1～B4チャンネルを操作できます。

画面表示



ランプの色と意味

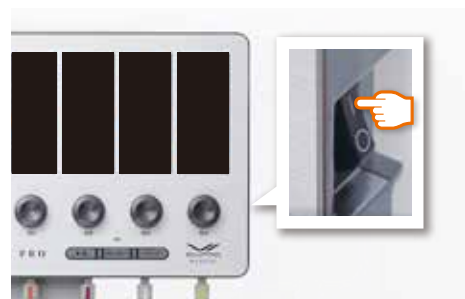
色	意 味	
消灯	本体の主電源スイッチがOFFになっています。	
赤色点灯	スリープ状態	画面が消灯しています。 SELECT ボタンを押すと、スタンバイ状態に変わります。
	エラー状態	本体にエラーが発生しています。 06ページ「故障かな？と思ったら」をご覧ください。
緑色点灯	スタンバイ状態	画面が下図の表示（枠のみ点灯）になり、本品の操作を始めることができます。 通信ボックスとの通信は、オフになっています。 
	起動状態	モードや時間などの設定をしたり、プログラムを開始したりできます。
黄色点灯	本品と通信ボックス、または通信ボックスとサーバーの接続にエラーが発生しています。詳しくは、取扱説明書15ページをご覧ください。再度接続設定をしてください。	
白色点灯	リモコンが登録されていません。 リモコン未登録時はお知らせのためにランプが白色点灯になります（プログラム実行中を除く）。	

メモリー初期設定 【m(メモリー)1】 Training 03・04、【m(メモリー)2】 Training 01、【m(メモリー)3】 Conditioning 01

詳細は取扱説明書P21～23で確認いただけます。
エラー表示は取扱説明書P31をご参照ください。



①専用ベルト、専用ジェルパッドに電極用ケーブルを接続する。



②電源を入れる。

主電源が入ると、起動音が流れます。しばらくすると、すべての画面が点灯し、その後消灯し、続いてスリープ状態になるまでお待ちください。



③使用するチャンネル側のSELECTボタンを押す。

SELECTボタンを押した側の画面が枠のみ点灯し、ランプは緑色に点灯します。



④SELECT ボタンを再度押して、使用したいメモリー番号(「m1」～「m3」)を選ぶ。

※「m1」～「m3」はSELECTボタンを押すたびに切り替わります。



⑤ダイヤルを押してメモリー番号(「m1」～「m3」)を決定する。

点滅しているチャンネルのダイヤルを回してチャンネルを選び、押して決定します。
※次のチャンネルを設定する場合は**⑤⑥**の作業を繰り返してください。



⑥ダイヤルを回してレベルを調節する。

ダイヤルを回してレベルを変更します。レベルを変更し始めると、刺激の強さを確認するためのお試し電気刺激が数分間流れます。
※レベル調整は、使用するチャンネルごとに行います。



⑦ダイヤルを押してレベルを決定し、設定を完了する。

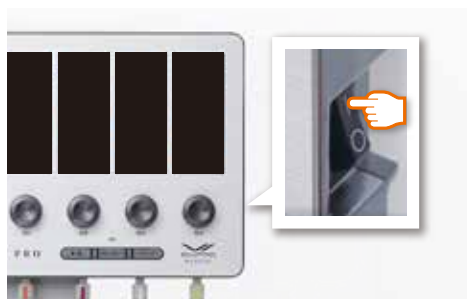
※使用するチャンネルすべてが設定完了(一時停止アイコン表示)になるまで、プログラムを開始できません。



⑧▶▶ ボタンを押してプログラムを開始する。

プログラムが終了すると効果音になります。効果音を切るには、使用チャンネル側の▶▶、SELECT、RESETボタンのいずれかを押します。

詳細は取扱説明書P23～26で確認いただけます。
エラー表示については取扱説明書P31をご参照ください。



①電源を入れる。

主電源が入ると、起動音が流れます。しばらくすると、すべての画面が点灯し、その後消灯し、続いてスリープ状態になるまでお待ちください。



②使用するチャンネル側のSELECTボタンを押す。

SELECTボタンを押した側の画面が枠のみ点灯し、ランプは緑色に点灯します。



③SELECTボタンを再度押して「F」を選びます。

※SELECTボタンを押すたびに「m1」～「m3」「F」と切り替わります。



⑤ダイヤルを押して「F」に決定する。

初期値：プログラム：01、時間15分が表示されます。



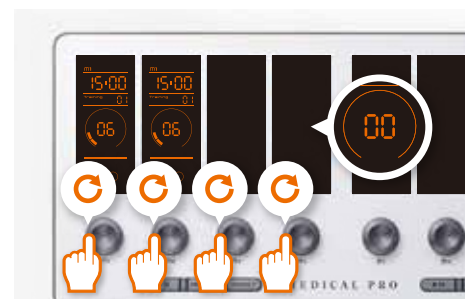
⑥ダイヤルでプログラムを選ぶ。

各ダイヤルを回してプログラムの種類と番号を(Training 01～06、Conditioning 01～06)選び、ダイヤルを押して決定する。
※プログラムの設定は使用するチャンネルごとに行います。



⑦ダイヤルでプログラムの時間を設定する。

各ダイヤルを回して、プログラムの時間を選び、ダイヤルを押して決定する。
※時間の設定は使用するチャンネルごとに行います。



⑦ダイヤルでレベルを調節する。

ダイヤルを回してレベルを選び、押して決定する。刺激の強さを確認するためのお試し電気刺激が数分間流れます。
※レベル調節は使用するチャンネルごとに行います。
※使用するチャンネルがすべて設定完了(表示)になるまで、プログラムを開始できません。



⑧▶|| ボタンを押してプログラムを開始する。

プログラムが終了すると効果音になります。効果音を切るには、使用チャンネル側の▶||、SELECT、RESETボタンのいずれかを押します。

詳細は取扱説明書P27～29で確認いただけます。
エラー表示については取扱説明書P31をご参照ください。



①電源が入った状態で、
A側のSELECTボタンを押す。

A側の画面が枠のみ点灯し、ランプは緑色に点灯します。※メモリー操作はA側、B側どちらでも行えます。



②SELECTボタンを再度押して、
登録したいメモリー番号
('m1'～'m3')を選ぶ。

※SELECTボタンを押すたびに「m1」～
「m3」「F」と切り替わります。



③ダイヤルを押して
登録するメモリー番号
('m1'～'m3')を決定する。



④SELECTボタンを約2秒長押しで、
編集開始する。

ランプが緑色点滅していれば登録が可能
です。



⑤チャンネル追加／削除

チャンネルを追加:追加するチャンネルのダイヤルを短押しします。
チャンネルを削除:削除するチャンネルのダイヤルを約2秒長押しします。



⑥ダイヤルでプログラムの
種類と番号を選ぶ。

各ダイヤルを回してプログラムの種類、番号(Training 01～06、Conditioning 01～06)を選び、ダイヤルを押して決定する。
※各プログラムの設定は登録したいチャンネルごとに行います。



⑦ダイヤルでプログラムの
時間を設定する。

各ダイヤルを回して、プログラムの時間を選び、ダイヤルを押して決定する。
※時間の設定は登録したいチャンネルごとに行います。



⑧SELECTボタン約2秒長押しで、
登録完了する。

ランプは緑色点灯になります。

専用ジェルパッドの 冷たさが気になるとき

ウォーマーケースには、保温機能が搭載されています。
ジェルシートを人肌温度に温めることが可能です。
詳しくは取扱説明書 P.18～P.19(「メディカルプロ専用ジェルパッド
をウォーマーケースに入れる」)をご覧ください。



専用ベルトの 汚れが気になったとき

日常のお手入れは、専用ベルトから電極ケーブルが外された状態で
水で濡らして固く絞った布でこまかい汚れを拭き取ってください。
シンナー・ベンジン・アルコールなどでは拭かないでください。
詳しくは取扱説明書 P.30(お手入れ方法)をご覧ください。

専用ジェルパッドの 汚れが気になったとき

粘着面を傷めるため長時間または頻繁なお手入れはお控えください。
汚れて貼りつきにくくなった場合は、指先に水滴をつけて
粘着面(ジェル面)を拭き、汚れを取り除きます。
詳しくは取扱説明書 P.30(お手入れ方法)をご覧ください。

状 態		考 え ら れ る 原 因	対 処 法
電気刺激が弱い、 または感じない		専用ベルト装着位置の肌が乾燥している。	専用ベルトの電極部をウェットシートで湿らせる。
		レベル設定が低い。	施術を受ける方に刺激の強さが適切か確認しながら、各チャンネルの選択ダイヤルを回してレベルを調整する。
ピリピリした刺激を感じる		専用ベルト装着位置の肌が乾燥している。	専用ベルトの電極部をウェットシートで湿らせる。
		寒く、乾燥した環境で使用している。	使用場所を暖かい環境に変更する(特に冬場などの寒く、乾燥した環境では肌が乾燥しやすくなり、電気刺激をピリピリと感じる原因となる可能性があります)。
スタートできない		肌を検知していないチャンネルがある ( 表示が点灯)。	 表示が点灯したチャンネルで以下を確認する。 ・専用ベルトが全面肌に密着しているか ・専用ジェルパッドが肌から浮いていないか ・電極用ケーブルが専用ベルト、専用ジェルパッド、本体の電極用ケーブル差込口に正しく接続されているか 専用ベルトが肌に密着していて  表示が点灯する際は、専用ベルトの電極部をウェットシートで湿らせる。
		設定を完了できていないチャンネルがある ( 表示が点灯していないチャンネルがある)。	 表示が点灯していないチャンネルの設定を完了させる (クイックガイド③④、取扱説明書 21 ページ、23 ページ)。
プログラムが途中で止まる		プログラムの途中で肌を検知できなくなったチャンネルがある(「E0」が表示)。	画面に「E0」が表示されたチャンネルで以下を確認する。 ・専用ベルトが全面肌に密着しているか ・専用ジェルパッドが肌から浮いていないか ・電極用ケーブルが専用ベルト、専用ジェルパッド、本体の電極用ケーブル差込口に正しく接続されているか 専用ベルトが肌に密着していて「E0」が表示される際は、専用ベルトの電極部をウェットシートで湿らせる。 「E0」表示が消えたら、▶  ボタンを押してプログラムを再開する。
画面にエラー番号が 表示される	E1～E6	本体が内部エラーを検知した。	本体の電源を入れなおす。 それでもエラー表示が消えない場合は、取扱説明書裏表紙の二次元コードから、 (株)MTG の Web 問い合わせ先にご連絡ください。
	E7・E8	外部送信エラーを検知した。	通信ボックスと本体の電源を入れ直す。 それでもエラー表示が消えない場合は、取扱説明書裏表紙の二次元コードから、 (株)MTG の Web 問い合わせ先にご連絡ください。
本体、スタンドがぐらぐらする		ネジに緩みがある。	取扱説明書 11～12 ページを確認して、各部のネジを締め直してください。